

# やどりき水源林ニュース

発行(財) かながわトラストみどり財団 編集 NPO 法人かながわ森林インストラクターの会  
 220-0073 横浜市西区岡野2-12-20 神奈川県横浜西合同庁舎内  
 045-412-2255 <http://www.ktm.or.jp> E-mail:midori@ktm.or.jp

## 定例観察会のお知らせ(費用等負担はありません)

毎週土曜・日曜の午前10時と午後1時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。なお、冬季(12月・1月・2月)は安全確保のため休止します。

## 山笑う…新緑の水源林



草木が萌え始め、花が咲き、のどかで明るい山を形容して山笑うと言いますが、まさに5月の水源林にはぴったりの表現です。ウワミズザクラの花に迎えられて、ゲートを入るとウグイスなど野鳥のさえずりが聞こえてきます。心が弾むような清々しい水源林をお楽しみいただけます。

水棚沢出合いから寄沢上流を望む



ウワミズザクラ



ヤマブキ



ヤマリソウ



ウラシマソウ

植物の名前は、姿や色に由来することが多いのですが、なるほどと思うことがあります。

## 生命の躍動も

春は草木が萌え、花が咲くだけではありません。厳しい冬を乗り越えた生きものも活発に動き始めます。ヤマアカガエルやカジカガエルのオタマジャクシ(左上)は元気に泳ぎまわり、春だけ見られるピロードツリアブ(右上)は陽だまりで一休み。切株の古い樹皮の裏には小さな虫たち(左下)がすんでいます。流れの遅い浅い水辺では、アズマヒキガエル(右下)のペアがこれから産卵に向かうのでしょうか。ちなみに上の小さい方が雄です。



## 水源林で見られるスミレのなかま

すみれ

春の野にすみれ探みに来てしわれそ  
野をながしみに夜寝にける



タチツボスミレ



シロバナタチツボスミレ



オトメスミレ



ツボスミレ



コスミレ



エイザンスミレ



ヒナスミレ



マルバスミレ



ナガバナスミレサイシン

山部赤人万葉集巻八 一四四

### みどり色がいっぱい!

新松田からバスで水源林に向かうと、終点が寄(やどりき)という集落です。1000年程前まで水源林は寄部落共有の生活に密着した山でした。今では、住いに近い山の斜面を利用して、お茶や野菜を栽培しています。

新緑の頃、見晴らしのよい茶畑からの眺めは、すべてがみどり色です。山村というキャンパスに淡い色、濃い色、様々なみどり色が重なって1枚の絵になっています。

一般に、みどり色は自然に例えられますがこの景色を眺めたら、きっと納得することでしょう。



寄・宇津茂地区の高台にある茶畑

#### 5月のトピックス

「卯の花の匂う垣根に...」と歌われるウツギの花が咲きます。

ヒメウツギ(写真)、ウツギ、マルバウツギ、バイカウツギなど6月にかけて咲き競います。沢では、カジカガエルが鳴いています。



#### 6月の水源林

木々の緑も一段と濃くなります。ウリノキやヤマボウシの花が咲きます。梅雨に入ると水源林は雨をしっかりと吸い込んで木々やコケ・シダ類が生き生きとします。雨を好むクガビル、コウガイビルなどの生きものを見つけられるかもしれません。雨の水源林も魅力がいっぱいです。雨具と靴を準備してお出かけください。